

平成29年度資産運用状況について

一般の中小企業退職金共済事業等勘定 給付経理

資産運用に当たっては、中小企業退職金共済法及び関係省令・告示並びに[運用の基本方針](#)に則り実施いたしました。中退共制度の安定的な運営及び健全性の向上に必要な運用収益を確保するため、最適な資産の組み合わせである[基本ポートフォリオ](#)に沿った資産配分を行い運用を実施いたしました。

平成29年度の資産運用は、先進国の緩やかな景気拡大等を背景に、国内外の株価が大きく上昇したことを主因に、委託運用で大きな収益を計上しました。この間、自家運用においては、金利が低迷を続けたことにより、更に利回りが低下しましたが、投資期間長期化により低下ペースは緩やかなものとなりました。

平成29年度末の運用資産残高は4兆8,463億円となり、当期の運用収益は1,076億円（運用収入が1,079億円、運用費用が4億円）、決算運用利回りは2.29%となりました。

なお、当期総利益は519億円、利益剰余金は4,335億円を計上いたしました。

資産運用の内訳としては、[自家運用](#)は期末運用資産残高2兆6,647億円、運用収益148億円（費用控除後）、決算運用利回りは0.57%となりました。

[委託運用](#)は期末運用資産残高2兆1,816億円、運用収益928億円（費用控除後）、決算運用利回りは4.42%となりました。

委託運用のうち金銭信託に係るパフォーマンスは、資産別では国内債券・国内株式・外国株式が[ベンチマーク](#)を上回り、外国債券はベンチマークを下回りました。

また、資産合計では、基本ポートフォリオに定める各資産の資産配分で加重した超過収益率の合計が0.39%となりました。

資 産 運 用 状 況

➤平成29年度の資産運用状況は、下表のとおりです。

(単位：百万円)

運用の方法等		資産額	構成比	運用収入 ①	運用費用 ②	運用収益 ①－②	決算運用 利回り	
自家 運 用	有 価 証 券	国 債	994,745	20.53%	3,516	-	3,516	0.35%
		政 府 保 証 債	1,134,295	23.41%	7,035	-	7,035	0.64%
		金 融 債	369,800	7.63%	1,245	-	1,245	0.34%
		円 貨 建 外 国 債	60,000	1.24%	2,986	-	2,986	4.91%
		計	2,558,840	52.80%	14,783	-	14,783	0.58%
	預 金	短 期 運 用	-	-	-	-	-	-
		普 通 預 金	105,883	2.18%	0	-	0	0.00%
		計	105,883	2.18%	0	-	0	0.00%
	計		2,664,723 <2,600,913>	54.98%	14,783	-	14,783	0.57%
	委 託 運 用	金 銭 信 託	指 定 ・ 特 定 金 銭 信 託	1,957,884	40.40%	89,829	-	89,829
新 団 体 生 存 保 険			60,756	1.25%	530	-	530	0.88%
計			2,018,640	41.65%	90,359	-	90,359	4.69%
生 命 保 険 資 産		162,940	3.36%	2,625	350	2,275	1.32%	
有 価 証 券 信 託		(953,700)	(37.27%)	143	-	143	0.02%	
計		2,181,580 <2,100,961>	45.02%	93,127	350	92,777	4.42%	
合 計		4,846,303 <4,701,874>	100.00%	107,910	350	107,560	2.29%	

- (注) 1. 資産額の<>内の金額は、平均残高である。
 2. 決算運用利回りは、運用収益を平均残高で除した数値である。
 3. 短期運用は譲渡性預金である。
 4. 金銭信託の資産額及び運用収入は、合同運用の全体額を総口数で除して求めた額に中退共資産の保有口数を乗じて算出した額である。
 5. 有価証券信託は自家運用により取得した有価証券の信託による運用であり、資産額はその内数である。
 6. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

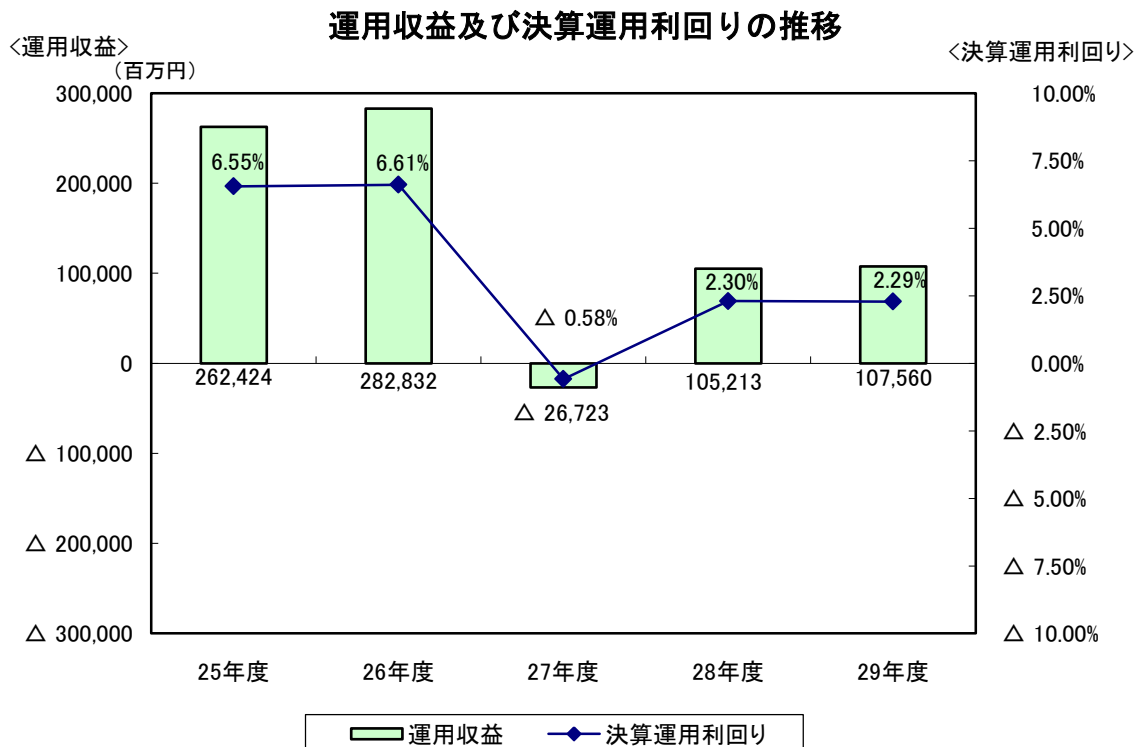
運用収益及び決算運用利回りの推移

▶ 過去5年間の運用収益及び決算運用利回りの推移は下表のとおりです。

(単位：百万円)

運用の方法等		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
自家運用	有 価 証 券	30,144	28,725	24,406	17,093	14,783
	預 金	27	23	18	0	0
	投 資 不 動 産	-	-	-	-	-
	計	30,171	28,748	24,424	17,093	14,783
委託運用	金 銭 信 託	228,602	249,851	△ 53,771	85,735	90,359
	生 命 保 険 資 産	3,609	4,135	2,492	2,251	2,275
	有 価 証 券 信 託	42	98	132	134	143
	計	232,253	254,085	△ 51,147	88,119	92,777
運用収益の合計		262,424	282,832	△ 26,723	105,213	107,560
決算運用利回り		6.55%	6.61%	△ 0.58%	2.30%	2.29%

- (注) 1. 運用収益は費用控除後の額である。
 2. 平成28年度以降の金銭信託の運用収益は、合同運用の全体額を総口数で除して求めた額に中退共資産の保有口数を乗じて算出した額である。
 3. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。



自家運用資産の構成状況

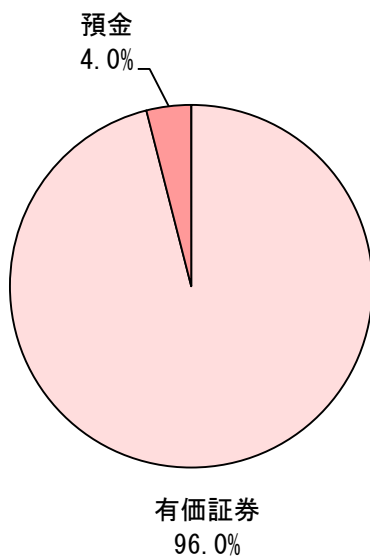
➤ **自家運用**は、元本の償還や利払いが確実な国債及び政府保証債を中心に運用し、平成29年度末の資産額は2兆6,647億円で、国債の割合は37.3%、政府保証債の割合は42.6%となっています。

(単位:百万円)

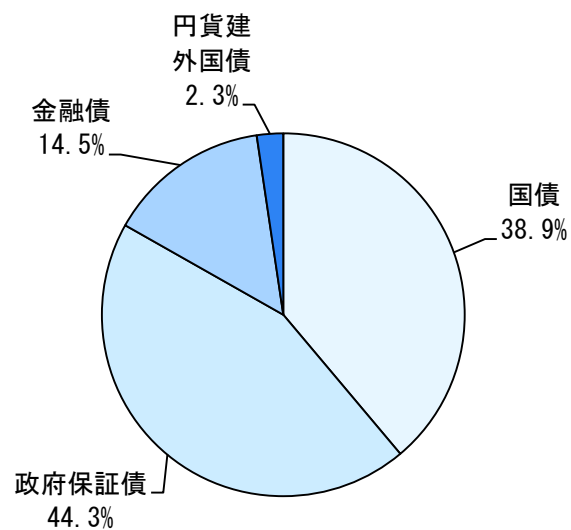
運用の方法等		資産額	構成比		
			有価証券構成比		
自家運用	有価証券	国債	994,745	37.3%	38.9%
		政府保証債	1,134,295	42.6%	44.3%
		金融債	369,800	13.9%	14.5%
		円貨建外国債	60,000	2.3%	2.3%
	計	2,558,840	96.0%	100.0%	
	預金	短期運用	-	-	
		普通預金	105,883	4.0%	
		計	105,883	4.0%	
	合計		2,664,723	100.0%	

- (注) 1. 短期運用は譲渡性預金である。
2. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

自家運用構成比



有価証券構成比



委託運用資産の構成状況

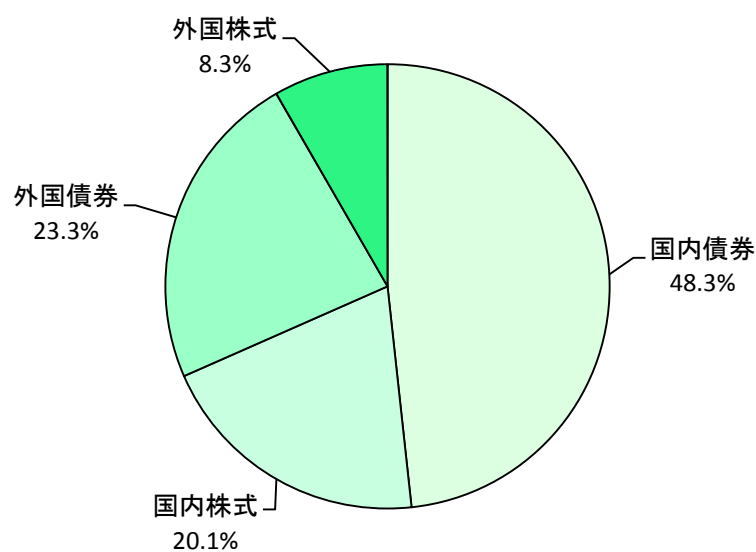
➤平成29年度末の委託運用のうち、金銭信託は、銀行(4社)、投資顧問会社(12社)及び生命保険会社(2社)に、生命保険資産は、生命保険会社(6社)に運用を委託し、資産額は2兆1816億円となっています。

(単位：百万円)

運用の方法等		資産額	金銭信託 構成比	
委託 運用	金 銭 信 託	国内債券	974,600	48.3%
		国内株式	406,056	20.1%
		外国債券	469,709	23.3%
		外国株式	168,274	8.3%
	計	2,018,640	100.0%	
	生命保険資産	162,940		
合計		2,181,580		

- (注) 1. 金銭信託の資産額は、合同運用の全体額を総口数で除して求めた額に中退共資産の保有口数を乗じて算出した額である。
2. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

金銭信託構成比



金 銭 信 託 の 収 益 率

➤平成29年度は、委託運用資産のうち金銭信託の収益率（時間加重収益率）は、資産別にみると国内債券・国内株式・外国株式がベンチマークを上回り、外国債券はベンチマークを下回りました。
また、時間加重収益率の資産合計は4.79%、基本ポートフォリオに定める各資産の資産配分で加重した超過収益率の合計は0.39%となりました。

資産区分		時間加重収益率	ベンチマーク騰落率	超過収益率
金 銭 信 託	国 内 債 券	1.05%	0.90%	0.15%
	国 内 株 式	16.38%	15.87%	0.51%
	外 国 債 券	0.78%	0.93%	△0.15%
	外 国 株 式	11.91%	8.47%	3.45%
	合 計	4.79%	—	0.39%

(注) 1. 超過収益率の合計は、基本ポートフォリオに定める各資産の資産配分で加重した合計値である。
2. 中退共資産における各資産のベンチマークは以下の通りである。

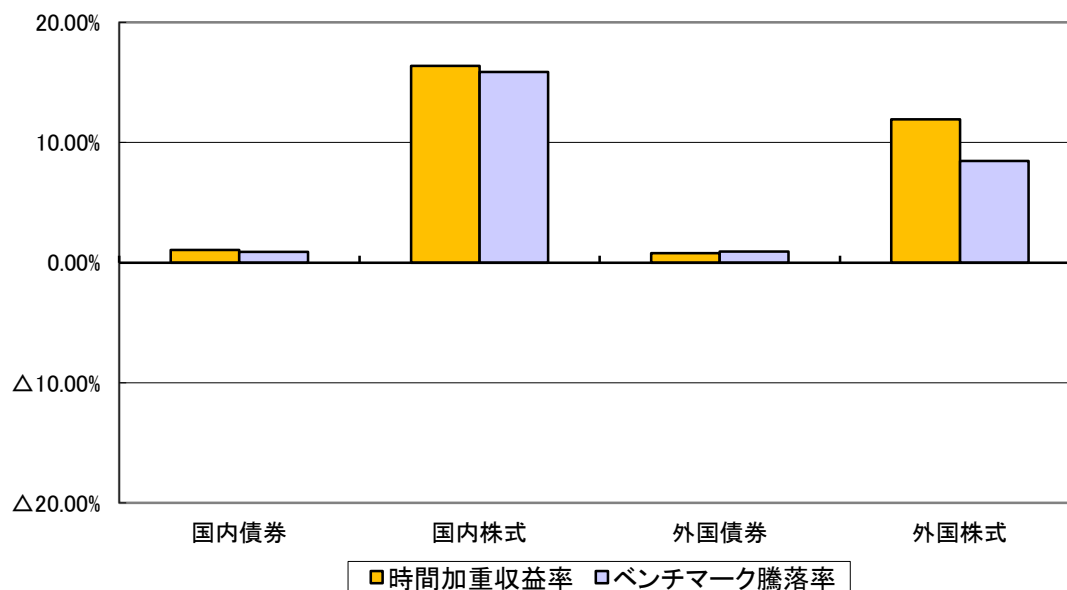
国内債券：[NOMURA-BPI総合](#)

国内株式：[TOPIX（配当込み）](#)

外国債券：[FTSE世界国債インデックス（日本を除く、円ヘッジ・円ベース）](#)

外国株式：[MSCI KOKUSAI（円ベース、配当込み、GROSS）](#)

金 銭 信 託 の 収 益 率



運用資産の構成状況

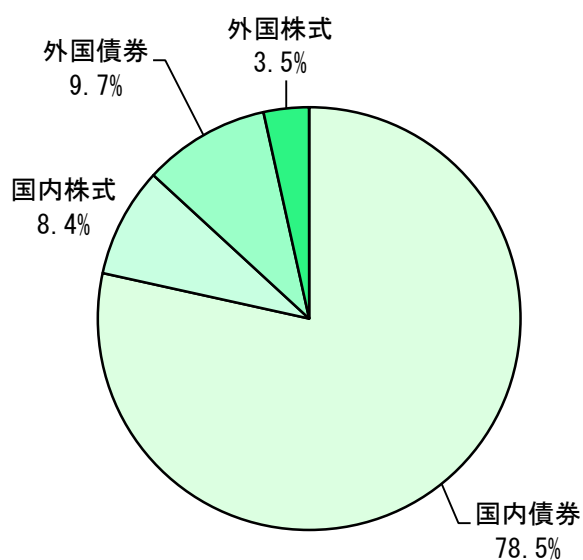
➤平成29年度末の資産構成状況は、基本ポートフォリオに定める資産配分に対する乖離許容幅の範囲内を維持しました。

(単位：百万円)

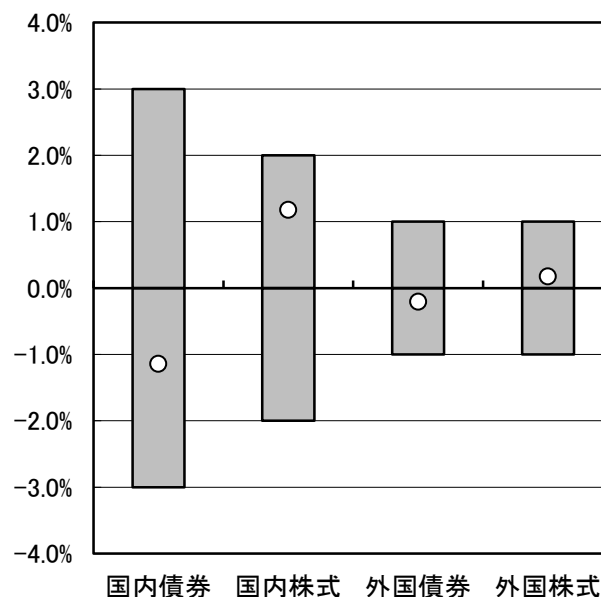
資産区分	基本ポートフォリオ	乖離許容幅	資産額	資産構成比	乖離状況
国内債券	79.6%	±3.0%	3,802,264	78.5%	△ 1.1%
国内株式	7.2%	±2.0%	406,056	8.4%	1.2%
外国債券	9.9%	±1.0%	469,709	9.7%	△ 0.2%
外国株式	3.3%	±1.0%	168,274	3.5%	0.2%
合計	100.0%	—	4,846,303	100.0%	—

- (注)
- 国内債券には、預金及び生命保険資産が含まれている。
 - 金銭信託の資産額は、合同運用の全体額を総口数で除して求めた額に中退共資産の保有口数を乗じて算出した額である。
 - 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

資産構成比



基本ポートフォリオ乖離状況



□ 乖離許容幅 ○ 乖離状況